

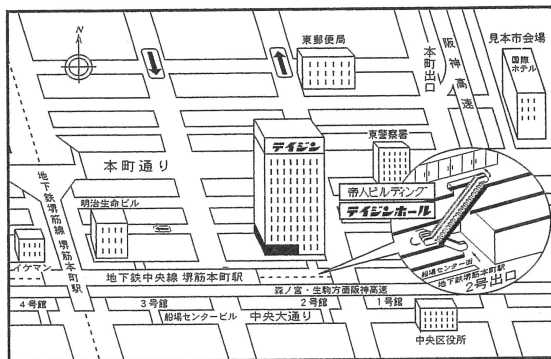
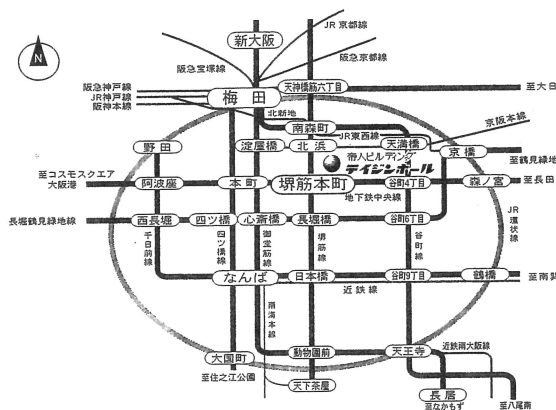
第31回 近畿川崎病研究会

日 時：平成19年3月3日(土)
13:00~18:40

会 場：テイジンホール

大阪市中央区南本町1丁目6番7号
TEL 06-6268-3131~3132

テイジンホールご案内地図



地下鉄中央線・堺筋線の堺筋本町駅東口から専用通路がございます。(東側2号出口)

共 催

近畿川崎病研究会
帝人ファーマ株式会社

— 近畿川崎病研究会 —

第31回研究会会長

村上 洋介

運営委員長

横山 達郎

運営委員

石田 明人	上村 茂	越後 茂之	荻野廣太郎
奥野 昌彦	尾内善四郎	片山 博視	萱谷 太
北村惣一郎	清沢 伸幸	小垣 滋豊	米田 正始
坂崎 尚徳	佐野 哲也	篠原 徹	清水 達雄
杉本 久和	鈴木 淳子	鈴木 啓之	瀬戸 嗣郎
津田 悦子	鄭 輝男	寺口 正之	土井 拓
富田 安彦	中川 雅生	服部 益治	濱岡 建城
深谷 隆	福田 和由	藤原 久義	古庄 卷史
松村 正彦	三谷 義英	水戸守寿洋	村上 洋介
横山 達郎	横山 直樹	吉林 宗夫	

顧問

川崎 富作	川島 康生	田村 時緒	濱島 義博
森 忠三			

事務局

〒541-0045 大阪市中央区道修町2-2-6 後藤ビル6階
(株)協和企画 大阪支社内
TEL 06-6231-6770

— お知らせとお願い —

1. ご参加の方へ

- (1) 開始時間は午後1時です。
- (2) 参加費は1,000円です。
なお、本会に未加入の方は入会のほどお願いいたします(年会費は3,000円です)。
- (3) 本会は、日本小児科学会認定医研修単位として5単位となっています。

2. 演題発表について

- (1) 本会ではディスカッションを十分に行いたいと思います。
口演時間は発表6分(討論4分)でお願いいたします。
- (2) PC形式のみとなりますのでご注意ください。
- (3) 発表用のデータは、以下の要領で口演の30分～1時間前までに「データ受付」へご提出ください。

[メディア] USBフラッシュメモリあるいはCD-R(Win/Macハイブリッド)

※必ず出力紙を添付してください。

※動画が含まれる場合は、ご自分のPCを持参いただき、事前に動作確認をした上でご提出ください。

[その他] OS: Win98以降・Mac9.2以降

ソフト: PowerPoint

ファイル名: プログラムNo.と演者のお名前(記号や半角カナは含めない)

※フォントは一般的なものを使用してください。

- (4) 口演終了後、舞台袖の控室でメディア(USBフラッシュメモリやCD-R)あるいはPCをお受け取りください。
- (5) 口演内容は、Progress in Medicine 7月号(ライフ・サイエンス)に掲載される予定ですので、以下の要領でまとめてください。

[執筆要領] 図表を別として、400字詰原稿用紙で12枚以内

※200字以内の英文抄録を添付してください。

[原稿締切] 平成19年5月1日(予定)

※後日、ライフ・サイエンスから改めてご連絡します。

[問合せ先] (株)ライフ・サイエンス 日村昭仁

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山

TEL 03-3407-8963

開会の挨拶 13:00～13:10

第31回研究会会長 村上洋介（大阪市立総合医療センター小児循環器内科）

セッション1 13:10～13:40

座長：鈴木啓之（和歌山県立医科大学小児科）

1. 第5病日に腱索断裂に伴う僧帽弁閉鎖不全により肺水腫とショックをきたした川崎病の1例

近畿大学医学部奈良病院 小児科

石原温子 鎌田航也 北村則子 三崎泰志 吉林宗夫

2. ガンマグロブリン治療にて軽快退院後1か月の心エコーで初めて大量心嚢液貯留が認められた川崎病の1例

神戸市立中央市民病院 小児科

原田明佳 山川 勝 宮越千智 富田安彦 春田恒和

3. 同時期に川崎病と川崎病類似症状を呈した一卵性双生児

社会保険紀南病院 小児科

井手 岳 南 孝臣 泉 鉉吉 濱 武継 津野嘉伸
向山弘展 宮脇正和 吉益 哲 番 浩

和歌山県立医科大学 小児科

鈴木啓之 浜田昌一 末永智浩 武内 崇 吉川徳茂

セッション2 13:40～14:10

座長：津田悦子（国立循環器病センター小児科）

4. Sustained VTを合併した川崎病後心機能低下の1例
～ICD植込みをいつ行うか？～

広島市民病院 小児循環器科

木口久子 中川直美 鎌田政博

広島市民病院 循環器内科

香川英介 井上一郎

5. 川崎病既往患者の血流依存性血管拡張反応(FMD)に関する検討

国立循環器病センター 小児科

堀田智仙 津田悦子 大内秀雄 松尾真意 越後茂之

6. 冠血流速度予備能(CFVR)が管理に有用であった川崎病冠動脈障害(閉塞後再疎通)の1成人例

大阪市立総合医療センター 小児循環器内科

保田典子 村上洋介 川崎有希 鈴木嗣敏 江原英治

セッション3 14:10~14:50

座長：吉林宗夫（近畿大学医学部奈良病院小児科）

7. 川崎病の患者状態適応型パス(PCAPS)

名古屋大学医学部附属病院 医療経営管理部

吉田 茂

8. 当院での川崎病再発例について

市立豊中病院 小児科

杉山正伸 川上展弘 片山外大 西塔拓郎 福島 文
五十嵐岳宏 森田祥子 小林尚弥 佐藤恵実子 吉川真紀子
徳永康行 松岡太郎

9. 超大量免疫グロブリン療法導入後の冠動脈病変形成例の検討

三重大学 小児科

松下理恵 三谷義英 大橋啓之 大橋 浩 駒田美弘
山田赤十字病院 小児科
澤田博文
はやかわこどもクリニック
早川豪俊

10. 川崎病急性期における血清CLEIA IL-6の検討

大阪市立総合医療センター 小児救急科

山室美穂 石川順一 外川正生 塩見正司

特別講演1 14:50~16:40

座長：村上洋介（大阪市立総合医療センター小児循環器内科）

「川崎病後遠隔期の血管病態：その臨床的意義」

三重大学 小児科 講師 三谷義英 先生

コーヒーブレイク 15:40~16:05

事務局報告 16:05~16:15

セッション4 16:15～16:35

座長：鈴木淳子（東京通信病院小児科）

11. MRCAにおける再疎通血管の描出と心筋障害の評価

東京通信病院 小児科

勝又庸行 鈴木淳子 北爪 勉 稲葉利佳子

東京通信病院 放射線科

武村 濃

日本赤十字社医療センター 小児科

菌部友良 土屋恵司

12. Soap Bubble MZP画像再構成法による再疎通血管描出の検討

東京通信病院 放射線科

武村 濃 是永建雄

東京通信病院 小児科

鈴木淳子 北爪 勉

日本赤十字社医療センター 小児科

菌部友良 土屋恵司

特別講演2 16:35～17:25

座長：濱岡建城（京都府立医科大学発達循環病態学）

「病態から考えた治療法の展開

～血漿交換療法からサイトカイン遮断療法まで～」

横浜市立大学 小児科 教授 横田俊平 先生

セッション5 17:25～18:30

座長：佐野哲也（大阪厚生年金病院小児科）

荻野廣太郎（関西医科大学附属男山病院小児科）

13. ガンマグロブリンとステロイドパルス療法に不応で Infiximab が有効であった川崎病の1例

近畿大学医学部奈良病院 小児科

鎌田航也 北村則子 石原温子 三崎泰志 吉林宗夫

14. 比較的急性期にサイクロスポリンを投与したが、両側巨大冠動脈瘤を認めた難治性川崎病の1例

大阪医科大学 小児科

尾崎智康 片山博視 井上奈緒 奥村謙一

大阪府済生会吹田病院小児科

森 保彦

15. 過去4年間の川崎病ガンマグロブリン不応症例の検討

和歌山県立医科大学 小児科

末永智浩 鈴木啓之 武内 崇 渋田昌一 吉川徳茂

公立那賀病院 小児科

山家宏宣 野田英作

社会保険紀南病院 小児科

番 浩 南 孝臣

16. 重症川崎病に対するmPSLパルスとIVIGを併用した強化初期治療の経験

大阪厚生年金病院 小児科

長谷川泰浩 佐野哲也 高田慶応 濱道裕二 山下純英

塚本容子 和田佳子 田川哲三 清野佳紀

17. 当施設におけるガンマグロブリン不応の川崎病に対する ステロイドパルス療法施行例の検討

松山赤十字病院 小児科

馬場健児 須賀久美子 宮井貴之 片岡京子 中野広輔

上田晃三 雀部 誠 近藤陽一 眞庭 聡 小谷信行

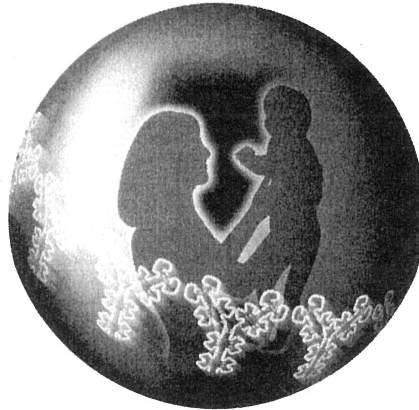
閉会の挨拶 18:30～18:40

第31回研究会会長 村上洋介（大阪市立総合医療センター小児循環器内科）

第32回研究会会長 中川雅生（滋賀医科大学治験管理センター）

Kenketsu Venilon®-I

Intravenous Immunoglobulin



血漿分画製剤 特定生物由来製品 指定医薬品 処方せん医薬品[※]

献血 静注用免疫グロブリン製剤



献血ベニロン-I

〈乾燥スルホ化人免疫グロブリン〉
生物学的製剤基準 注) 注意 - 医師等の処方せんにより使用すること

薬価基準収載

販売 帝人ファーマ株式会社

〒100-8585 東京都千代田区千代田2-1-1
資料請求先: 帝人ファーマ(株) 学術情報部

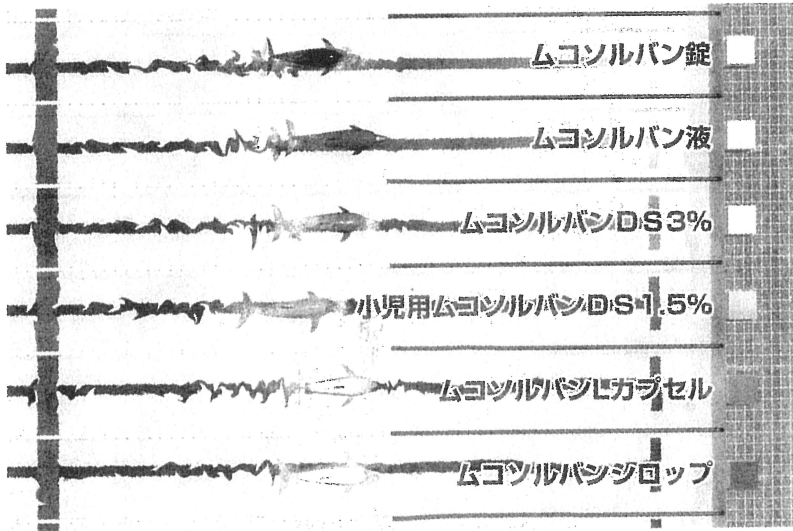
製造販売 化血研 化学血液学療法研究所
資料請求先: (財)化学及血液療法研究所 営業管理部

■「効能・効果」「用法・用量」「禁忌・原則禁忌を含む使用上の注意」等は製品添付文書をご参照ください。

VEN902 (M1) 0507改4 作成年月2005年7月



呼吸器のティジン



ムコソルバン錠

ムコソルバン液

ムコソルバシD.S3%

小児用ムコソルバシD.S1.5%

ムコソルバシロップ

ムコソルバシD.S1.5%

指定医薬品 気道潤滑去痰剤

ムコソルバン 錠・液・DS3%・シロップ
小児用ムコソルバシD.S1.5%

指定医薬品 徐放性気道潤滑去痰剤

ムコソルバン Lカプセル
Mucosolvan® 〈塩酸アンブロキシール〉
薬価基準収載

■「効能・効果」「用法・用量」「禁忌を含む使用上の注意」等は添付文書をご参照ください。

*製造販売元
TEIJIN 帝人ファーマ株式会社

〒100-8585 東京都千代田区千代田2-1-1
資料請求先: 帝人ファーマ株式会社 学術情報部



提携
Boehringer Ingelheim
ペリガンインカドMインターナショナル社
インカドMインターナショナル社

*2005年4月改訂

MUC805 (M1) 0602改3
2006年2月作成